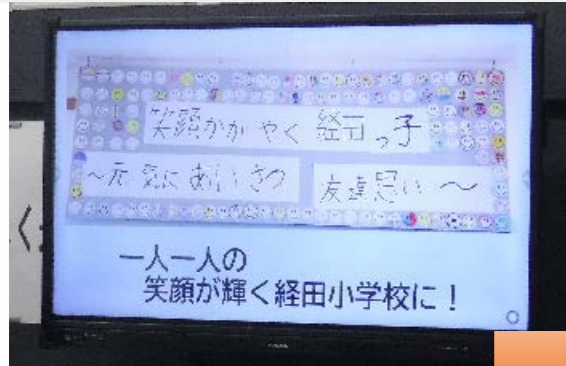
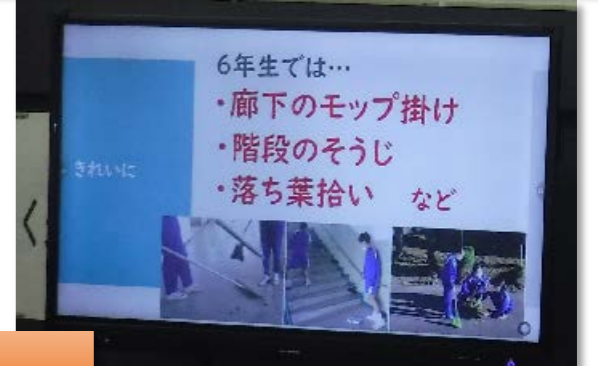


テーマ みんなが楽しく過ごせる学校とは



市内小中学校の児童生徒の代表が一堂に会し、第17回魚津市子ども会議が開かれました。中学生の司会・進行で、前半は各学校の取組をもとに意見交流をしました。後半はグループになり「みんなが楽しく過ごせる学校にするにはどのようなことをしたらよいか」について話し合い、意見や考えを交流しました。他の学校との交流を通して、よりよい学校にしたいという願いを共有することができました。また、学校や魚津市への意見を述べ、大人に聞いてもらうことができました。



みんなが楽しく過ごせる学校にするためにどのようなことをしたらよいか

- 『学年の枠を超えた活動を活発にする』『みんなの意見を反映する』『挨拶や掃除など当たり前のことをみんなでする』
- 『みんなが、自分の主張をしながらも全体の規則を守り、その規則の中でどんなことができるかをみんなで考え、工夫する』
- 『みんなが参加できている・みんなが自分と向き合える・みんなが自分なりの立場で人とかかわり合う』 など

「みんなが楽しく過ごせる学校」に向けての取組

西部中学校 昨年度の校則見直しの振り返りとして「靴下の色と髪型」のルールのアンケートを取り、各学級で話し合った。生徒総会で、執行部からルールを変えてよかった点や課題、昨年度の校則見直しやルールづくりの思いをもう一度に伝えた。これらの取組は、校則見直しを考えるよい機会となり、ルールを変えて終わりではなく、振り返りをしながら「自分たちで話し合い、決める」ことが大切という雰囲気が高まった。

東部中学校 生徒会スローガン「Challenge together and Enjoy together」を達成するために様々な活動を企画した。今年は特に体育大会のエール交換を全校生徒で動きがあるものにした。全校生徒の体育大会全体の士気が高まった。様々な活動により、リーダーの「みんなで楽しみたい」という気持ちが高まり、またフォロアーとして活動する人が増えるなど、みんなで頑張ろうという様子が見られるようになった。

星の杜小学校 「朝のあいさつ運動」や「縦割り班活動」などに取り組んだ。「朝のあいさつ運動」では、学年で場所を決めてあいさつする取組などにより、あいさつをする人が増えた。「縦割り班活動」では、6年生がリーダーとなり、いもほり集会や縦割り班清掃などを行った。上学年が下学年を思いやる気持ちが広まった。

よつば小学校 企画委員会が中心となって朝のあいさつ運動を行った。あいさつシールを配布する取組で挨拶が広まった。代表委員会では、生活目標について各クラスのためへの発表や振り返りを行い、自分たちの問題を話し合っ解決できるようにした。「大人にお願いしたいこと」のアンケートをして先生へ伝えた。

清流小学校 「あいさついっぱい」「安全な学校」「きれいな学校」にするために、6年生のあいさつ運動や「歩こうポトル」、「ハロウィン・キャンディ大作戦」などに取り組んだ。6年生のあいさつ運動により2、3年生の中に一緒に取組もうとする子が増えた。よいと思ったことはどんどん実行に移したいと思う。

追下小学校 あいさつ運動では、あいさつマスコットを自分たちで考え、それをプラカードにすることで愛着が生まれ、挨拶も広がった。また、地域の方から「私たちも一緒に挨拶を」との相談を受け、毎月第2週に地域の方も一緒に立っていただいた。よりよい挨拶をしようという意識を高めるきっかけになった。

経田小学校 「あいさつ運動」や「ホットカード」に取り組んだ。あいさつスタンプカードなどの活動で飽きずに楽しくあいさつ運動に取り組めるようになった。また木曜日の「ほかほかタイム」に反達のよいところや頑張っていることをカードに書いた。お互いのよさや頑張りを認め合うことで、温かい雰囲気が広がった。

主催：魚津市教育委員会 会場：魚津市教育センター